

第49回関東実業団対抗テニストーナメント
ビジネスパル・テニス関東大会 結果報告書

2010.7.22

栃木県庁
監督：鈴木秀男

1. 大会概要

- ・日程 平成22年7月17日(土)～18日(日)
- ・会場 山梨県小瀬スポーツ公園テニスコート
- ・主催 関東テニス協会
- ・主管 山梨県テニス協会
- ・後援 山梨日日新聞社、朝日新聞社
- ・協賛 ブリヂストンスポーツ(株)

2. 試合方法

- ・男子16チームのトーナメントでコンソレーションにより順位決定。
- ・複2試合及び単1試合による対抗戦。ただし、重複出場は出来ない。
- ・試合はD2 D1 Sの順番で、8ゲームズプロセットマッチ。

3. 出場選手

1. 鈴木 秀男
2. 大貫 大輔
3. 小林 裕幸
4. 関 広志 *初出場
5. 菅又 圭亮 *初出場

4. 試合結果

1回戦 対 東京エレクトロン(山梨)：7月17日(土)

	栃木県庁	1 -	東京エレクトロン
D2	関 広志	2 - 8	戸木 教夫
	菅又 圭亮		藤原 千秋
D1	鈴木 秀男	8 - 4	山田 賢二
	大貫 大輔		大倉 成幸
S	小林 裕幸	2 - 8	伊丹 武

コンソレ1回戦 対 群馬県庁(群馬)：7月17日(土)

	栃木県庁	1 -	群馬県庁
D2	大貫 大輔	8 - 1	中野 俊之
	小林 裕幸		成塚 彰久
D1	鈴木 秀男	4 - 8	平井 一幸
	菅又 圭亮		反町 圭介
S	関 広志	1 - 8	伊藤 寛

13位決定戦 対 三菱電機(神奈川)：7月17日(土)

	栃木県庁	1 -	三菱電機
D2	大貫 大輔	8 - 4	水上 雄介
	菅又 圭亮		服巻 勇希
D1	鈴木 秀男	5 - 8	吉橋 陽
	関 広志		後藤 準
S	小林 裕幸	3 - 8	松本 良央

15位決定戦 対 ファナック（山梨）：7月18日（日）

	栃木県庁	- 0	ファナック
D 2	大貫 大輔	8 - 6	近藤 洋平
	菅又 圭亮		牧 育広
D 1	鈴木 秀男	8 - 6	沖田 洋志
	関 広志		武田 信人
S	小林 裕幸	打ちきり	森田 悟

5. 所感

今大会は、新人2人を起用する苦しい選手事情でした。そこで、若手を育成する大会と位置付けで臨むことにしました。

大会は2日間とも30度を超える暑い中での大会となりましたので、熱中症対策をして戦ってまいりました。

初戦の相手は、東京エレクトロン・山梨代表で我がチームと力の差の無いチームでした。まず、ダブルス2で初出場の関・菅又組を起用し、ダブルス1とシングルスを取りにいきました。鈴木・大貫組のダブルスは予定どおり取って小林選手のシングルスにかかりました。小林選手はシングルの試合感がなく2 - 8の一方的な敗戦となってしまいました。

続く、**2戦目**の相手は、群馬県代表の群馬県庁で、ダブルス2つを取りに行く事にしました。まず、ダブルス1で大貫・小林組が取って、次の鈴木・菅又組は、中盤まで接戦するが終盤リズムが崩れて負けてしまいました。シングルスは関選手で、ミスが目立ち負けてしまい、チームとしても負けてしまいました。

続く、**3戦目**の相手は、神奈川代表の三菱電機で、初出場の二人をダブルスに起用して再度シングルの小林選手を取る作戦を取りました。ダブルスは菅又組が勝ち鈴木・関組が負けて1 - 1となり、小林のシングルスに期待が掛かりました。しかし、試合感は戻らずに負けてしまい、初日全敗となってしまいました。

最終戦は、山梨県のファナックとの対戦で、最後の試合は絶対に勝とう！ということで勝ちにこだわって戦いました。ダブルス2を2勝している大貫・菅又組で、接戦を物にして幸先良く先勝しました。続くダブルス1は、鈴木・関組で幸先良く5 - 1とリードしました。しかし、中盤崩れ接戦になり、辛うじて8 - 6で勝利をものにしました。関選手の初勝利。最後のシングルスは打ち切りとなりました。

今回はチーム成績1勝3敗（第15位）となりましたが、初出場の関・菅又の2選手は勝利を味わうことが出来たことで自信を付けた事と思います。そこで、何よりも大貫選手のアドバイスにより成長した事が大きな収穫でした。若手選手の育成する大会としての成果は達成出来たと思います。しかし、第15位という結果については、この悔しさを晴らすべく1年間練習に励んで行きたいと思います。

最後にいろいろとご指導ご鞭撻くださった役員の皆様にはとても感謝しております。来年は今年以上に頑張りますので、宜しくお願い致します。

以上